



日本共産党・前県会議員

2021年10月15日

加藤なを子



県政へのかけ橋 活動レポート

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

TEL0466-25-4776 FAX 25-4761

いよいよ政権交代の選挙です

市民と野党の共闘で、野党の連合政権を

一緒に実現しましょう！

9月30日、日本共産党と立憲民主党の党首が会談し、政策の実現のための政権協力が合意されました。その合意内容は以下です。

- 1, 次の総選挙で自公政権を倒し、新しい政治を実現する。
- 2, 市民連合と合意した政策を推進するために協力する。その際、日本共産党は、実現する範囲での限定的な閣外からの協力とする。
- 3, 両党で候補者を一本化した選挙区については、双方の立場や事情の違いを互いに理解・尊重しながら小選挙区での勝利を目指す。



自己責任の政治を変え、社会保障の充実で、命と暮らしを守る政治へ



投票行動で政治は変わります。

新しい政権、政治を実現するために力を合わせましょう！

(藤沢革新懇「日本の夜明け」9/25 宣伝)



なを子の花だより

今週はコスモス

私の好きな花のひとつはコスモスです。何故と聞かれると風にゆれるその姿がはかなげで茎も花びらもしなやか。でもしっかり大地に根付いているところです。花言葉は「乙女の真心」「調和」「謙虚」などです。コスモスはギリシャ語で[kosmos]「美しい」という意味だそうです。この意味から星が美しく輝く宇宙のことを「cosmos」と呼ぶようになったとか。そういえば☆の形はコスモスの中心から外に向かう花びらの形と似ていますね。秋の空は高く感じます。秋のうろこ雲の下、コスモスの花が似合います。

「困っている」「苦しい」に寄り添う日本共産党

国民の苦難の軽減が立党の精神です。

日本共産党の市会・県会議員の時、そして今も市民から相談を受けることが多くあります。困っている人、苦しんでいる人たちに寄り添い、支援し解決に向けて取り組むのが、日本共産党です。利用できる制度やしくみはないか、一緒に考え取り組みます。時には長期間にわたっての相談になることもあります。

もちろん、解決することばかりではありませんが、頼りにされ、誠実な対応に喜ばれ、信頼していただけることは私たちにとって本当に嬉しいことです。時には、「聞いてもらっただけで気持ち楽になった。」「一緒に考えてもらえて嬉しかった。」といてくださる方もいます。

他の会派の人も「共産党ならやってくれるよ」と。

「他の政党をすべて回り、最後に共産党にたどりつき、ようやく解決への道が開けた。」という方や、「他の会派でうちはできないけど、共産党ならやってくれるよ、と言われた。」「共産党の女性議員に相談にいけばなんとかしてくれるからいきなさいと言われた。」という若い女性の方もいました。

忘れられないのは初めて相談にのった時のこと。「職を失い、足を怪我して共産党に相談したい。」と、市の職員に抱えられながら生活相談にきた青年。「学校をやめて北海道の牧場で働きたい。」という高校生の女子と、お母さんの相談もありました。

相談にのりながら、私たちがさまざまなことを経験し、学ぶことができます。

これからも私たちは、頼りになる、そして国民に誠実な政党の活動を続けていきます。



子どもたちは署名行動で大活躍

— 「中学校でも、小学校と同じような給食にしてください。」の声 —

私は9月23日、中学校給食を求める新婦人の署名行動に参加しました。「子どもが途中で帰りたいといったら、1時間もいられないかなあ、と心配もありました。でも署名してもらうことが喜びとなり、一筆署名していただくごとに、みんなに報告したりして、充実した時間となりました。子どもパワーはやっぱり素晴らしいですね。」と親子で署名行動に参加したお母さんがおっしゃっていました。「子どもの訴えの力はすごく、通り過ぎたのに戻ってきて署名する人や、中学生が友だちと立ち寄り、小学校の給食のおいしかったことなど話してくれました。」という声もありました。



私も署名してくれた中学生に「給食がいい。頑張ってくださいね。」と、励まされました。

給食は教育そのもの。子どもたちが喜ぶ中学校給食を実現するために力をあわせましょう。